

授業科目(ナンバリング)	博物館展示論(CB304)			担当教員	小泉優莉菜		
展開方法	講義	単位数	2単位	開講年次・時期	3年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>テーマ：博物館展示とは何か？</p> <p>博物館は、法令上社会教育施設に位置付けられているが、その活動の主体を「展示」に置いていることが、同じ社会教育施設である図書館や公民館との最大の違いである。つまり、博物館が持つ最大の機能が展示であるとも換言できる。</p> <p>本授業は、博物館展示の歴史、分類、手法を学び、博物館展示に関する体系的な知識の取得を目的とする。</p>							②⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	資料だけではなく、博物館における「展示」そのものに関する知識を付けることができる。また、地域や館の形態など多様な設置条件に即した展示を理解し、その違いを判断することができる。					確認テスト	30%
情報収集、分析力	博物館に必要とされる展示を分析し、説明することができる。					課題レポート	60%
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力	博物館展示の使命について理解し、説明することができる。					授業内小レポート	10%
出席						受験要件	
合計						100%	
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、課題レポート60%、単元ごとの確認テスト30%、授業内小レポート10%の配分で行う。</p> <p>課題レポートは、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。確認テストでは、各回の授業内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを問う。提出課題へのフィードバックは、ポートフォリオで随時行う。</p>							
授業の概要							
<p>博物館展示の基礎的知識の取得を目指す。授業はパワーポイントを使用し、博物館展示の基礎を体系的に講義する。</p> <p>また、毎回授業時には小レポートを課すほか、振り返り授業時(第6,10,14回)に単元ごとの確認テストを行い、理解度の確認を進めつつ、最終授業時には全体の内容を網羅するテストを行う。</p> <p>必要に応じ、ハウステンボス内での実地見学も行う事がある。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は180分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：特に指定なし(毎回必要プリントを配布)</p> <p>参考書：第1回講義内で紹介する</p> <p>指定図書：黒沢浩ほか編 2014『博物館展示論』講談社</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>博物館展示論を受講することで、博物館の展示に関する知識と見方を養い、博物館を身近なものにすることを期待する。また、地域の博物館や資料館などに積極的に足を運び、そこで実践されている展示を観覧することで、地域における博物館展示の在り方についての問題点を把握できるようになってほしい。</p> <p>また、授業中の私語や指示の無いスマホの使用、理由のない遅刻・途中退出は認めない。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス 展示の社会的役割	・シラバスの説明 ・博物館展示論について、展示の意義や社会的役割について学ぶ。	予習：シラバスを読み込み、不明語彙について調べておくこと。
2	展示の歴史	「展示」という営みがどのような歴史の変遷の中で生まれてきたのか、また、その中で、展示論はどのように発展していったのか理解する。	復習：展示論の発展について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
3	博物館展示の形態①	展示形態や展示の方法について概論的に理解する。	復習：展示形態や方法について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
4	博物館展示の形態②	展示方法について、専門分野別に説明する。この回では、「総合博物館」、「歴史民俗系博物館」、「考古学博物館」、「美術館」について理解する。	復習：それぞれの館の展示方法や課題について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
5	博物館展示の形態③	前回に引き続き、専門分野別の説明を行う。この回では、「自然史系博物館」、「理工系博物館」、「野外博物館」、「動物園」、「水族館」、「動物園」について学ぶ。	復習：それぞれの館の展示方法や課題について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
6	第1回～第5回の振り返り	・ここまでの授業の振り返りや、リアクションペーパーなどで寄せられた質問事項への回答を行う。 ・単元確認テスト	復習：第1～5回の授業内容を見直し、疑問点について明確にしておくこと。
7	博物館展示の計画と制作	展示の企画立案から開催までの工程について、時系列での説明を行う。また、展示に対する評価や改善の模索方法についても理解する。	予習：様々な博物館のチラシを確認し、どのような展示会が行われているのか調べること。
8	博物館展示の評価とマネジメント実践	博物館評価の実践方法や、それをもとにしたマネジメント方法にはどのようなものがあるのか、理解する。	復習：博物館評価やマネジメントについて、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
9	博物館内の展示説明の種類と方法	博物館の展示解説には、どのような種類と方法があるのかを解説する。また、展示パネルや解説書の制作についても理解する。	復習：展示解説について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
10	第7回～第9回の振り返り	・ここまでの授業の振り返りや、リアクションペーパーなどで寄せられた質問事項への回答を行う。 ・単元確認テスト	復習：第7～9回の授業内容を見直し、疑問点について明確にしておくこと。
11	博物館建築について	戦前・戦後の博物館建築の歴史について概観する。また、博物館建築の諸機能と展示について学ぶ。	復習：博物館建築について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
12	博物館展示を活用した利用と学び	博物館展示の利用実態と博物館における学びの特性について理解する。	復習：博物館での教育について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
13	博物館展示の課題と可能性	デジタル化が進む中で、その技術の展示への活用方法や、社会的弱者へも開かれた展示づくりなど、博物館展示に残されている課題や可能性について学ぶ。	復習：デジタル的な展示について、授業内で取り上げたキーワードの内容確認。
14	第11回～第13回の振り返り	・ここまでの授業の振り返りや、リアクションペーパーなどで寄せられた質問事項への回答を行う。 ・単元確認テスト	復習：第11～13回の授業内容を見直し、疑問点について明確にしておくこと。
15	総括（展示動線、博物館展示の必須条件） 確認テスト	・これまでの展示論の総括として、展示論全体を概観することで、現在の博物館展示の課題を探る。 ・理解度確認のため、授業内試験を行う。	予習：確認テストの対策を行うこと。